

郷土芸能祭出演リスト

第11回（産業祭&JA農業祭での開催

於：宮之城運動公園 総合グラウンド）

番号	郷土芸能名	出演団体	説明
1	浅山棒踊り （出演3回目）	神子区 神子区芸能保存会	浅山棒踊りは、武士たちの士気高揚のために勧めたものと伝えられており、浅山流の棒術を踊りにしたもので、櫓の六尺棒を槍に、三尺棒を刀に見立て、4人1組の踊りで勇壮に舞います。力強い打ち合いによる乾いた音や棒を飛び越える所作が見どころです。 2022年3月の鶴田小学校再編に伴い、地元児童への指導は途絶えましたが、神子区の協力を受けながら、伝統を継承し、未来へ繋いでいきます。
2	宮田狩踊り （出演2回目）	宮田集落踊り保存会	宮田狩り踊りは、金山踊りの後山として踊られるもので、いつ頃始まったのか定かではありません。内容は、鹿児島の大隅に世継ぎの子が生まれ、そのお祝いに泊野の猪を望まれたので、庄屋どんが狩人を集めて狩りを行う様子を表現しています。昭和47年5月12日に、町の無形民俗文化財に指定されました。
3	浅井野秋津舞 （出演3回目）	白男川区 白男川区秋津舞保存会	浅井野秋津舞は、島津義弘公の朝鮮への出陣または凱旋を祝って踊ったのが始まりで、農民の士気を鼓舞するために奨励されたといわれています。アケスとは秋津蜻蛉（アケストンボ）につながり、蜻蛉の飛ぶような軽快さがあり、勇壮活発な勇ましい踊りです。 平成29年度に「浅井野公民会の秋津舞」から「白男川区秋津舞保存会」に受け継がれ、今年8年振りに白男川区総力を挙げて披露します。
4	兵児踊り （出演2回目）	中津川区 友励会	兵児踊りは、蒲生町の若者達が「出水に遊びに行く様子を踊りに取り入れたもの」という説があり、明治中頃、現在の出水市野田町からいくつかの地域を経て、中津川の弓之尾集落に伝わり、尾原集落や他の集落へ伝わったものといわれています。踊る仕草が滑稽で、勇ましくもユーモラスな踊りです。 今年も会員一丸となって、明るく元気な踊りを披露します。